

研修 評価

研修名	医療現場で実践できるコミュニケーション（中堅編）				
領 域	臨床実践能力 （協働する力）	会場	新潟県看護研修 センター	受講料	会 員：3,080 円 非会員：9,240 円
対 象	学習段階レベル II・III 募集数(80人)応募数(37人)参加数(36人)会員数(31人)非会員数(5人)				
日 時	令和7年10月8日（水曜日） 10:00～16:00				
ねらい（目標）	1. 相手も自分も大切にするコミュニケーションについて理解する 2. チーム医療を円滑に行うためのコミュニケーションスキルを身につけることができる				
講 師	池田優子 高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科 非常勤講師				
内容・方法	○講義内容 講演 ・自己のコミュニケーションの傾向を知る ・コミュニケーションスキル（アサーション等）について理解する ・医療現場のコミュニケーションとその持ち方 ・多職種のコミュニケーションの実際 演習 ・アサーショントレーニング ○研修方法 講義・演習				
結 果	○参加者数 36名 45% 【達成・<u>未達成</u>】 ○アンケート結果（回収率97%） ・理解度 100% 【<u>達成</u>・未達成】 ・自己課題の達成度 100% 【<u>達成</u>・未達成】 ○受講者の意見 ・過度な期待を持ちすぎず、相手の強みを考えながら関わっていきたい。 ・例えや事例が分かりやすかった。				
評価・総括	○目標達成の評価：【<u>研修会の目標は達成した</u>・達成しなかった】 ・アンケート結果からも、明日から実践できる等の記載があり目標は達成した。 ○総括 研修会開催の良かった点・改善点、今後の継続について ・現在、新人編と中堅編に分けて研修を実施しているが、グループワークで、経験年数ごとに分けることで、初級編と中級編を同時に実施できると思われる。 ・良い研修だが、参加者が少ない為、研修のタイトルを検討する必要がある。				
課 題	○研修テーマの再検討				
担当者	教育委員				